

市民対話集会におけるご意見・ご提言と市の回答一覧(1/13)

分野	ご意見・ご提言	市の回答	担当部局
地域コミュニティについて(公民館・自治会・市民活動・地域づくりなど)			
(公民館関連)			
	公民館活動の自主運営移行の検証をどのようにしているか。	自主運営への移行により、自分たちの地域は自分たちで作るという意識の醸成が図られていると考えています。今後は、「コミュニティ推進基本方針」を策定する中で、これまでの取り組みについて検証、分析し、今後の方向性をお示しするとともに、組織や拠点づくりを進めます。	市民部
	東荷公民館に公用車を配備してほしい。	公民館主事の業務形態などを調査し、検討します。	市民部
(市民活動関連)			
	地域が開催する催しがにぎわうよう、市でも積極的に情報発信をしてほしい。	市では、可能な限り地域の行事を取材し、広報紙やホームページなどで紹介しています。どの地域でいつ、どんな行事があるかについて、市のホームページなどに行事予定を載せることができないか検討します。	政策企画部
	現在、やよい幼稚園、三井小学校、三島公民館で行っている「子ども囲碁教室」を広く普及させていきたい。こうした住民主体の取り組みを支援してほしい。	住民主体の取り組みについては、地域づくり支援センターの活用や市民活動補償制度などにより、引き続き支援していきます。	市民部
	クリーン光大作戦で地域が除草作業などを行う場所は、自治会などに草刈りなどを任せたらよいのでは。	ありがたいご提言として受け止めさせていただきます。今後とも、自治会などと連携をしていきたいと考えますので、ご協力をお願いします。	建設部
	クリーン光大作戦は、一斉に始めて終わるよう、開始 時刻を徹底してほしい。	クリーン光大作戦の反省会にて、各公民館へ開始時刻の周知をお願いしました。	教育委員会
	ボランティア活動に対して、市から活動費を支援してほしい。	ボランティア活動に対する金銭的な支援については考えていません。	市民部
	若年層を対象にした新しい市営住宅を造り、ボランティアの担い手として若い人を市に呼び込んでほしい。	多くの視点からの検討が必要で、貴重なご提言として受け止めさせていただきます。	建設部
(地域づくり関連)			
	各地域にコミュニティ協議会が設置されたが、行政主導のため、うまく運用されていない。無駄なくスピーディに、そして地域の状況を加味して、組織の育成に取り組んでほしい。	地域のあり方を自ら考え、決め、実行できる地域コミュニティの組織および拠点づくりを推進するため、「コミュニティ推進基本方針」を今年度から来年度にかけて策定します。策定にあたっては、地域の方々からご意見を聴きながら進めたいと考えています。	市民部

市民対話集会におけるご意見・ご提言と市の回答一覧(2/13)

分野	ご意見・ご提言	市の回答	担当部局
自然・環境について(海岸保全・環境整備・景観・里山・廃棄物・自然エネルギーなど)			
(海岸保全関連)			
	戸仲に防波堤が新設されて、付近の砂の流出がなくなったと聞いている。今後もこのような工事を積極的に進め、室積海岸の砂流出防止に努めてほしい。また、こうした結果は積極的に公表してほしい。	戸仲地区の高潮対策と砂防突堤の整備を進めてきましたが、今後は松原地区の侵食対策に取り組むこととしております。ご提言の、事業実施後の効果などの周知についても、広報紙や市のホームページを通じて情報提供に努めます。	経済部
(環境整備関連)			
	クリーン光大作戦の時に島田川で除草したアシなどが虹ヶ浜海岸に流れ着き、困っている。	公民館と対応を協議し、後日、回収しました。	教育委員会・環境部
	東荷から岩田駅に抜ける道の除草について。	ご指摘の個所は年2回の草刈りを実施しています。見通しが悪く危険な個所については、随時草刈りを実施しますので、個別に道路河川課に連絡をお願いします。	建設部
	道路に覆いかぶさっている高所の木や竹の伐採を定期的にしてほしい。	市道上で、通行に支障になる木などは随時伐採をしていますが、竹繁茂地が道路に隣接するところについては、「森林づくり県民税事業」を活用したいと考えています。	建設部・経済部
	島田川のアシの繁茂が水鳥の飛来を妨害しているのではないか。	島田川のアシについては、試験的に一部伐採を実施しました。今後も、生物の保護なども考慮しながら、河川管理者である県とともに適正な管理に努めます。	建設部
	環境美化のため、島田川の草刈りを行っているが、河川敷に生えている柳の木やアシについては、災害が起こる前に対応してほしい。	島田川の柳、アシ、土砂の堆積については、県事業で定期的に浚渫※1が行われています。今年度も浚渫※1を行う予定です。	建設部
	空き家で廃屋となっている住宅への対応はどうなっているか。	家屋はあくまで個人の財産であり、管理がされていない空き家であっても、市が解体・撤去することはできません。そのため、所有者を調査し、各々に適正な管理をお願いしています。	環境部
	竹林の増加により山林の荒廃が進んでいる。山崩れの予防、水の確保のため、市と市民が協働して竹やぶ化の防止ができないか。	公共性の高い竹繁茂地は、「森林づくり県民税事業」を活用して竹の伐採を実施します。市民との協働については、今後、可能性を検討します。	経済部
	市営住宅の空き家の草を市で刈ってほしい。	現状を確認後、草刈りを実施しました。今後も住民の方と協議の上、市営住宅の空き家の適切な管理に努めます。	建設部
(自然エネルギー関連)			
	各公民館に太陽光発電を設置する計画はないか。また、風力発電という方向性はあるか。	現時点では公民館への設置計画はありませんが、積極的に太陽光発電の設置を推進しており、推進の方策についてさらに検討を進めます。なお、風力発電については、風力や音の問題があることなどから現在は考えていません。	環境部・市民部

市民対話集会におけるご意見・ご提言と市の回答一覧(3/13)

分野	ご意見・ご提言	市の回答	担当部局
産業・活性化について(観光・経済・交通機関・人口定住・農林漁業・離島振興など) 1/2			
(観光関連)			
	「夕日の滝」へのアクセス道について。	「夕日の滝」東側の谷に砂防堰堤※2の要望があり、県が工事用の道路を計画しているようです。その工事用道路を活用できないか検討します。	建設部
	冠山総合公園では、梅まつり期間中の休日に入園料を徴収しているが、入園料に代えて駐車料金を徴収してはどうか。	公園の維持管理費用に充てるため、入園料をいただいています。駐車場については、民有地を無償で借用しているため、料金をいただくことができません。	建設部
	郷土の土産として、はし置きを作ってはどうか。	光市観光協会においてクサフグをモチーフにした「幸福のはし置き」を販売しています。	経済部
(経済活性化関連)			
	工業、商業の発展なくして光市の発展はあり得ない。経済発展のため、固定資産税を削減してほしい。	現在、企業誘致や雇用確保のための奨励金制度は設けていますが、固定資産税の減額については考えていません。	市民部
	民間の過当競争によるデフレ現象で収益減(税収減)が起こっている。交通、小売業の活性化など、デフレ対策をしてほしい。	市が単独でデフレ対策を実施するには限界があることから、県や市長会などを通じて国に働きかけていきたいと考えています。	経済部
	官民が協働して、活力のある光井商店会を再建してほしい。	行政と民間の役割を踏まえ、再建に向け、共に考えていきたいと思います。	経済部
(農林漁業関連)			
	海や川を育てる中山間地域の森林整備が重要な課題である。光市は経済林が少ないのではないか。	光市は経済林が非常に少なく、森林の整備は大きな課題です。このため、昨年度定めた「森林整備計画」を踏まえて、今年度から5カ年の「森林経営計画」を策定します。	経済部
	「第六次産業創造プロジェクト」の中にある「水産業の活性化」には、森の保全という考えも必要なのでは。	水産業における森と海のつながりという観点から森林機能の重要性は十分認識しており、ご提言の趣旨を踏まえて推進していきます。	経済部・政策企画部
	「第六次産業創造プロジェクト」について、一次産業を育て付加価値を加えていくためには、出荷先の確保が重要ではないか。	まずは、農業振興拠点施設「里の厨」を中心に、地産地消の推進による農産物の消費拡大を図るとともに、学校給食センターとの連携について検討します。	経済部
	学校給食用に野菜を納品しているが、無農薬・減農薬栽培では、野菜にある程度虫が混入するのは防げない。	可能な限り返品などの措置は取らず、手作業で除去していますが、場合によっては返品・交換をお願いすることもありますので、ご理解ください。	教育委員会
	毎年、イノシシやサル被害に悩まされている。市の対応状況を教えてほしい。	昨年4月に有害鳥獣対策専門の部署(水産林業課有害鳥獣対策係)を設け、職員を3人配置しています。現在は、農家の方が行う防御対策と、市が行う捕獲の両面で行い、今年度は、サルの捕獲奨励金を増額するとともに、捕獲用の箱ワナを新たに購入するなど、対策を強化していきます。	経済部
	耕作放棄地にイノシシが出没し困っている。企業の福利厚生としてミカンやクリを植えた森を整備してもらったらどうか。	ご提言は、有効な手段の一つだと考えますので、今後、企業への働きかけや所有者、地域との話し合いの場を検討します。	経済部
	三島橋の両岸に「桜の里、三島の里」を整備してはどうか。また、三島温泉を利用して、「里の厨」のようにぎわいのある拠点づくりをしてほしい。	三島橋の架け替えに合わせて県と地域の皆さんがワークショップで取りまとめた「島田川三島地区水辺プラン」をもとに、植栽場所を検討していきます。	建設部
	東荷地区に「里の厨」ができたが、もっと雇用創出による若者定住と地域活性化を目的に「ブランド化」を図ってはどうか。	現在、45人のパート雇用があり、確実に新しい雇用が生まれています。また、特産品の生産に向けて、生産者を対象とした研修や試験栽培を行っており、こうした取り組みの中から「ブランド化」につなげていきたいと考えます。	経済部
	林業研究会では、里の厨で山桜を活用した草木染め体験教室を行っている。プロジェクトでは、農漁業だけでなく林業の活性化についても取り組んでほしい。	林業も含めたプロジェクトとして、総合計画に位置付けた林業振興策を推進していきます。	経済部
	千田郷地区は、農村の過疎化、農家の高齢化などにより、農地などの保全管理が困難な状況にある。今後過疎化と高齢化が進み遊休農地が増えると思われるが、市の対応はどのようになっているか。	市では、農地を集積し個人経営から集団経営への転換(農業法人化)を県とともに誘導・推進しています。今年度から、国により「人・農地プラン」(地域農業マスタープラン)の作成が推進されますので、このプランの作成を通じて地域農業の将来について検討していきます。	経済部
(人口定住関連)			
	東荷地区の人口減少対策として、農家専用住宅を整備してはどうか。また、それらを被災者にも提供してはどうか。	農家専用住宅の建設は困難ですが、新規就農者にとっても住居は必要なことから、空き家情報や改修支援策などについて地域とも連携しながら検討したいと考えます。なお、被災者からの就農希望は現在のところありません。	経済部
	空き家の賃貸や売買などの情報を市民と市で共有することにより、伊保木地区への転入者の受入体制ができないか。	伊保木地区を特定した対応は困難ですが、人口定住対策については、全市共通の課題として、空き家の活用なども含めて検討したいと考えます。	政策企画部

市民対話集会におけるご意見・ご提言と市の回答一覧(4/13)

分野	ご意見・ご提言	市の回答	担当部局
産業・活性化について(観光・経済・交通機関・人口定住・農林漁業・離島振興など) 2/2			
(公共交通機関関連)			
	牛島海運(有)定期船の運航体制を維持してほしい。	牛島海運(有)の運航する牛島～室積航路は、国・県・市の補助で運航しています。可能な限り現在の体制の維持に努めます。	経済部
	牛島海運(有)の待合所を改善してほしい。	光漁港広域漁港整備事業による県漁協光支店の移設の際、待合所などの整備の可能性を検討します。	経済部
	牛島からの鮮魚の出荷のため、定期船(1便)の出航時刻を早めてほしい。	集会後に全島民アンケートを実施しましたが、「現状のままだがよい」との回答を大多数の方からいただきましたので、現状どおりの運航を継続します。	経済部
	高齢者の交通手段の確保を、後期基本計画の期間内に実現してほしい。	バスなどの既存の交通手段の維持に努めるとともに、コミュニティ交通モデル事業の拡充について検討します。	経済部
	生野地区から岩田駅までの交通手段を確保してほしい。また、市営バスに加えて移動販売車などが来てくれるようにしてほしい。	路線の拡大には運輸局への申請が必要であり、すぐにはいきませんが、検討したいと考えています。また、移動販売については、近年、大手スーパーなどが積極的に取り組んでおられることから、活用について検討します。	経済部
	大和総合病院と光総合病院を往復するバスを通院のためにも利用させてほしい。	直通バスは、2つの市立病院の機能分化の後、大和地域の二次医療を補うために運行しています。通院などでのご利用については、市営バスやぐるりんバスのご利用をお願いします。	経済部・病院局
	コミュニティ交通の運用として、実費程度の助成を出して自家用車を活用することは考えられないか。	コミュニティ交通の今後につきましては、市全体の公共交通機関の問題も含めて、皆さんのご意見をお聞きしながら検討していきます。	経済部
	コミュニティ交通モデル事業では、車の使用範囲が中学校区となっているが、光総合病院までの運用を許可してほしい。また、この事業はモデル事業であるが、本事業化への取り組みは。	民間事業者との競合や、他の地域とのバランスがあるため、公共交通機関との乗り継ぎをお願いします。今後、事業化については、要望の状況や実績を踏まえながら検討していきたいと考えています。	経済部

市民対話集会におけるご意見・ご提言と市の回答一覧(5/13)

分野	ご意見・ご提言	市の回答	担当部局
保健・医療・福祉について(医療・高齢者福祉・健康づくりなど)			
(医療関連)			
	牛島診療所の運営を市でお願いしたい。	平成25年度まで、牛島衛生組合を指定管理者として運営を行っています。人口減少の影響で運営が厳しいことは認識していますので、状況を確認しながら、26年度以降の運営について検討します。	福祉保健部
	市立病院の医師が異動せず、同じ医師に長く診てもらいたい。	医師は大学からの派遣で、短期間で異動となることもありますが、診療記録により、医師が代わっても患者の情報は引き継がれています。	病院局
	市立病院において、患者にしっかりと説明をしてほしい。	インフォームドコンセント(説明責任・義務)をしっかりと果たします。	病院局
	2つの市立病院に、行き場のないお年寄りを看てくれるような部門を設置してほしい。	ご提言のような入所施設の整備も必要ですが、まずは地域の皆さんが近所同士で関心を持つことが一番大切なことだと考えています。市でも、緊急時通報への対応や要援護者支援など、さまざまな施策を用意していますので、ご活用ください。何かあれば、まずは地域包括支援センターにご相談ください。	福祉保健部
	市立病院が赤字経営だと聞いているが、どのような経営努力をしているか。	光総合病院は単年、累積とも黒字経営です。一方、大和総合病院は慢性期医療を中心とする病院への機能分化を目的に、平成22年度から病棟の改修工事を行ったため、一時的に収益が落ち込みましたが、現在は経営状況がかなり改善しています。公立病院は、救急医療や、へき地医療など、不採算部門を担わなければならないという使命があり、利潤だけを追求するわけにはいきませんが、引き続き経営努力を行っていきます。	病院局
(高齢者福祉関連)			
	昨年度に策定された第5期介護保険計画の予算の概要を教えてください。	介護保険事業は、保険料が半分、残りを国、県、市で負担しています。負担割合では、市が12.5%~19.75%であり、人件費、事務費などを含めて6億4700万円を予算計上しています。	福祉保健部
	高齢者の安全安心ネットワークづくりについて、早急に実りのあるものにしてほしい。	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するためには、市だけでは限界があり、相互の助け合いが必要です。昨年度、周防地区で県内初の「徘徊模擬訓練」を実施しましたが、今後も地域の方々の協力を得ながら安全安心ネットワークの構築ができるよう支援をしていきます。	福祉保健部
(健康づくり関連)			
	三島温泉健康交流施設の運営について、約2千万円の赤字予定だと聞いているが、少しでも赤字を減少するための対策は。	指定管理者制度の導入により、専門企業が持つノウハウを活用し、年間1300万円を上限に管理運営を行うこととなりました。施設の開設後も可能な限り、経費節減に努めていきます。	福祉保健部

市民対話集会におけるご意見・ご提言と市の回答一覧(6/13)

分野	ご意見・ご提言	市の回答	担当部局
子育て支援について(子育て・教育・生涯学習など)			
(子育て関連)			
	さつき幼稚園に関する住民アンケートでは、条件さえ合えば通わせたいという家庭が多くあったが、どのように考えているか。	時間の延長や年少児からの入園については、さつき幼稚園を開設した時の経緯や、公立が私立の補完的な立場にあることなどの問題や課題がありますが、今後、市内の公立幼稚園・保育園のあり方を整理する中で検討していきます。	福祉保健部
	あいぱーく光、教育委員会、地域づくり支援センターの調整機能を本庁に置くなどして、子育てに関する相談などを総合的に扱う部署があればよいのでは。	子育て支援については、出生から就学前まではあいぱーく光(子ども家庭課)、就学後は教育委員会が担当しており、これらが引き続き連携を密にしながら総合的な相談業務などを行っています。	総務部
(教育関連)			
	児童・生徒通学路の危険個所について、市、地元自治会、学校などで点検、協議し、早急な対策をしてほしい。	8月6日と7日に、学校・警察・教育委員会などによる通学路の緊急合同点検を実施しました。今後、さまざまな対策について関係団体と協議し、最も効果的な方法を考えていきます。	教育委員会
	通学時の自転車の通行マナーが悪く危険である。自転車道を分離するなど、何らかの検討はできないか。また、自転車で歩道を走るときには、ベルを鳴らすように指導してほしい。	警察と連携して危険個所を確認するとともに、市内高等学校に、自転車のマナー向上についての生徒指導を依頼しました。	教育委員会
	浅江中学校運動場東側の樹木が巨大化し、剪定が困難である。市で剪定してほしい。	樹木の管理については、学校やPTAなどの学校関係者の協力を得ながら行っていますが、巨木などで業者による剪定が必要な場合については、対応を検討します。	教育委員会
	伊保木小学校と室積小学校の合併時に決められた小学生の交通費を永久的に補助してほしい。	交通手段など、児童を取り巻く通学環境の観点から、補助の必要性の有無を検討します。	教育委員会
	室積小学校のプールに温水シャワーを設置してほしい。	小・中学校のプールは、夏季のみの使用であるため、温水シャワーの設置は予定していません。	教育委員会
	周防小学校最寄りのバス停の道幅が狭く、歩道もないので通学にも非常に危険である。対策をお願いしたい。	ご指摘のバス停付近については、8月6日と7日に、学校・警察・教育委員会などによる通学路の緊急合同点検を実施しました。横断歩道の設置などについて、改良の必要性が認識されたところであり、関係機関に対して引き続き要望していきます。	建設部・教育委員会
(生涯学習関連)			
	来年は伊藤博文ら長州ファイブが渡英して150年の節目の年である。この機会に英語教育に関するイベントを企画するなど、交流を深める事業を行ってはどうか。	市では、中学生を対象に「伊藤公カップ英語スピーチコンテスト」を開催しています。また、来年は「ボーイスカウト日本ジャンボリー」が山口県で開催され、外国の青少年も来られることから、交流を深める事業を行いたいと考えます。	教育委員会

市民対話集会におけるご意見・ご提言と市の回答一覧(7/13)

分野	ご意見・ご提言	市の回答	担当部局
都市基盤について(道路・河川・公園・上下水道・土地利用など) 1/3			
(道路関連)			
	笠野川の河川道が八幡所交差点の抜け道になっており、朝夕の交通量が非常に多く、危険である。拡幅してほしい。	県の管理であり、市独自での早急な対策は困難ですが、県に照会をしながら、現状の中で何ができるのか検討します。	建設部
	懸山地区の生活道路の確保に協力してほしい。	生活道路を確保するため、市が窓口となって、関係者と話し合う必要があると考えます。協議の場にはこれからも参加し、皆さんと解決策を協議していきます。	建設部
	ソフトパーク北側から丸山町までの道路を整備してはどうか。	災害、事故など非常時における迂回路や避難路確保の観点から、「都市計画マスタープラン」では、ソフトパークから丸山町に至る道路整備を検討することとしています。	建設部
	渋滞緩和のため、瀬戸風線の開通まで中村町入口交差点付近の交通規制が必要ではないか。	交通規制については、警察などとの協議が必要であり、今後、どのような方法が考えられるか検討していきます。	建設部
	農免道路を宝光寺から中村町方面に下らずに瀬戸風線に合流させることにより、渋滞防止に加え、イノシシ対策などの効果も期待できるのでは。	ご提言のルート案は、地形及び延長などから考えると莫大な費用が必要となるため実現は困難と考えます。	建設部
	虹ヶ浜緑道は街灯も整備され、格好の散歩道だが、休憩所やトイレが使用不能の状態になっている。環境の整備と市民へのPRをしてほしい。	北側の緑地は、年2回の草刈りおよび低木の剪定を実施しています。今後とも市民の皆さんに安心してご利用いただけるよう適切な維持管理に努めます。なお、使用を中止しているトイレにつきましては、防犯面などを考慮し、撤去を含め検討します。	建設部
	ライラック通りにライラックが数本しか残っておらず、植樹柵は雑草だらけである。植生に合った植樹で整備をしてほしい。	暑さに強いライラックも含め、植生にあった植樹を検討したいと考えていますが、一方で、歩行の妨げになるとのご意見もありますので、植樹柵の維持管理も含めて検討します。	建設部
	雨が降るたびに島田中学校のテニスコートから水と泥が側溝に流れ込んで道路が泥だらけになる。根本的な解決はできないか。	テニスコート下の擁壁改修を予定していますので、排水対策も考慮した改修を行います。	教育委員会
	以前から要望している、島田中学校前～上大田および下大田～林バス停の農道の拡幅ができない理由を教えてください。	平成21年度から県へ補助を要望していますが、予算の確保ができていません。今後も拡幅が実現できるよう、県に強く要望していきます。	経済部
	無用な道路はつくらないでほしい。	地域のニーズなどを踏まえ、適切な道路整備に努めます。	建設部
	県道「光日積線」の道路拡幅工事を早期に完成させてほしい。	今年3月に県の説明会が開かれたとおり、随時、工事を行っていくものと認識しています。市としても、早期完成について、継続的に県に要望していきます。	建設部
	県道虹ヶ丘森ヶ峠線のうち、森ヶ峠側の道路整備を早急にしてほしい。	県も早急な整備を考えており、測量や説明会を行ったところですが、用地の買収が進んでいないのが現状です。引き続き県に強く要望し、早期完成を目指します。	建設部
	三島橋が完成するまでに長い期間を要したのはなぜか。	橋の規模が大きいため、予算的に1年で完成できず、2年を要したものです。	建設部
	道路工事に伴う土砂がそのままになっており、雨のたびに流れ出て迷惑している。	この土砂は次の工事まで一時的に保管しているものですが、その後、提案者と対応策を話し合い、雨水がたまらないような施工をすることにしました。	経済部
	冠山総合公園や梅園の開発以後、大雨により光井三丁目の市道が冠水する状態となった。早急に対応してほしい。	光井三丁目の排水路については、平成17年から予備設計などを実施し、地元説明会を開催しました。関係者とも個別の交渉を行いましたがいまだに実現できていません。国道の横断部分については、国土交通省の改修により以前より改善したのではないかと考えています。今後も改善に向けて努力していきます。	建設部
	伊保木、五軒屋地区では、国道188号の消波ブロックや波返しはあるが、台風や西風が強いときに波が上がって危険である。対応策はないか。	国土交通省に対して継続的に働きかけをしていますが、進んでいないのが現状です。引き続き要望していきます。	建設部
	下水道のマンホールの蓋に段差があり、危険なので対応してほしい。	歩行者や自転車などの通行に危険な個所から随時補修を行っています。ご指摘の個所についても、現地を確認しましたので、順次対応していきます。	環境部
	国道188号の電線地中化については、3年前に市役所から警察署付近までの工事が済んでいるのに、いまだに電線と電柱が撤去されていない。地中化はいつになるのか。	今年4月に国土交通省から説明がありましたが、今年度からも更に範囲を延長する計画があるということで、電柱撤去の時期については明らかにされませんでした。時期が明確になりましたら改めてお知らせします。	建設部
	伊保木公民館上の農道から市道三差路の改善をしてほしい。	現地を確認し、状況を把握しましたので、改善策を検討し実施します。	建設部
	簡易水道の埋め立てと市道の差が大きく深いへこみになっている。	現地を確認し、状況を把握しました。段差の大きな個所から計画的に改善していきます。	建設部
	赤線道、青線道の補修について、住民の力だけでは対応できないところがある。せめて重機を貸してほしい。	赤線道、青線道など法定外公共物の管理は、利用者および地元自治会にお願いしており、一自治会当たり年間10万円までの資材支給などを行っています。そのほか、技術指導なども可能ですので、道路河川課へご相談ください。	建設部

市民対話集会におけるご意見・ご提言と市の回答一覧(8/13)

分野	ご意見・ご提言	市の回答	担当部局
都市基盤について(道路・河川・公園・上下水道・土地利用など) 2/3			
(河川関連)			
	西河原川の浚渫※1をしてほしい。	引き続き、河川管理者である県に要望を行います。	建設部
	東荷地区の河川の雑草と州などの堆積物について。	現地を確認しました。来年度以降に対応することとします。	建設部
	光井川の上流に土砂がたまっているところがあり、大雨のときに危険である。	現地を確認しました。光井川は県管理の河川であり、今年度浚渫※1を行う予定です。	建設部
	岩田川のアシが繁殖し、毎年川が氾濫している。地元でも刈っているが、定期的に支援をしてほしい。	岩田川は、毎年下流側から危険かつ緊急的な個所について浚渫※1を行っていますが、今後も計画的に行っていきます。	建設部
	島田五丁目と中島田一丁目の境の小川の浚渫※1について、市と住民が協働でアイデアと人力を出し合って、川の流れを取り戻す努力をしてはどうか。	市内には同様な河川が多く存在することから、ご提言の趣旨を踏まえ、協働でどのようなことが可能か研究していきます。	建設部
	枝虫川、鳶の子川樋門電気室の周辺に植えられているツツジの半数近くが枯れている。近隣住民に管理を依頼するなどの方策を取るべきではないか。	水門の管理を委託している民間業者に、委託業務の一部として枯れ木および雑草の除去、水やりなどの管理を依頼しており、適正な管理を指導しました。近隣住民の皆さんのご協力の申し出があれば、お願いします。	建設部
(公園関連)			
	冠山総合公園の子どもの森とスポーツ公園にある遊具の違いは。	子どもの森の遊具の対象年齢は3歳から12歳で、スポーツ公園は、年齢に関係なくご利用いただけます。	建設部
	伊藤公記念公園の遊具の状況について。	危険な遊具があり、現在は撤去しています。今後、新たな遊具の設置については、要望などを踏まえ検討します。	建設部
(上下水道関連)			
	光市は、他の自治体に比べて下水道料金が安いのでは。	下水道料金と水道代を合わせると、県内13市中中ほどの水準に位置しています。	環境部
	山の上にある私の家には水道が来ていない。このような場所へ水道管を敷設する場合は、自己負担になると言われたが、不平等ではないか。	水道原価を押し上げることになるため、個別の家屋に水道管を引くことはできません。集落全体ということであれば、すぐにでも対応が可能ですので、集落の中で話し合っていたいただきたいと思います。	水道局
	周防地区の下水道設備計画を教えてください。	現時点では具体的な整備時期などはお示しできませんが、今後の事業の進捗により、検討していきます。	環境部
	江ノ浦地区の下水道計画について、工事の着手時期などを教えてください。	今年度、江ノ浦地区の下水道計画(実施設計)を行う予定としています。工事については、面的整備に先立ち、国道を横断する工事を行います。	環境部
	流域下水道事業にかかる維持管理費は下水道料金で賄われている。市が維持管理費を支出していることを精査してほしい。また、県への維持管理負担金が下がった分を下水道料金の値下げに反映してほしい。	過去の決定事項であるため、変更はできません。また、下水道料金は、流域下水道、関連公共下水道の原価になっているため、維持管理負担金の差額分を料金に反映することはできません。	環境部
	浄化槽(7人槽)を設置したが、実際には2人世帯である。それでも年1回の清掃が義務づけられているため、多額の費用がかかり負担を感じている。	法律で年1回の清掃が義務付けられていますが、清掃費用の負担が大きいことも認識しています。今後、県の保健所などとも協議し、負担軽減の可能性について検討します。	環境部
	浄化槽清掃などの維持費用が非常に高い。住民に業者の選択の余地はなく、業者に市から指導ができないのか。	浄化槽の維持費用について、市から業者に対して指導する権限はありませんが、引き続き、維持費用の値下げについて、業者に要望していきます。	環境部
(情報通信関連)			
	伊保木地区では、通信速度の速いインターネットが利用できない。また、難視聴解消のために自治会単位で共聴設備の設置に向けて取り組んでいるが、国やNHKの助成を活用して伊保木地区の全世帯にケーブルの敷設を検討してほしい。	光ケーブルの敷設については、市から事業者に要望しましたが、困難とのことでした。また、インターネットブロードバンド回線については、最近では、高速なワイヤレス通信事業者のサービスエリアが充実してきており、一部利用が可能です。なお、9月議会で、難視聴地区で、地元組合などが設立する共聴施設整備に対する補助金の予算措置をいたしました。	政策企画部・経済部
	黒杭地区の携帯電話の電波について、市有地へのアンテナ設置を許可してほしい。	現地を確認したところ、市道敷であったため、許可要件を満たせば設置ができることとしました。	建設部
	大和地域の市外局番が光地域と同じになるのはいつか。	現状では困難ですが、引き続き関係機関と協議を進めていきます。	経済部
	NHKの天気予報で、下松市、柳井市が出るのに光市が出ないのはなぜか。	下関气象台などによると、「予報は一定の観測地によって提供されているため、変更は困難」とのことですが、今後も引き続き要望をしていきます。	政策企画部

市民対話集会におけるご意見・ご提言と市の回答一覧(9/13)

分野	ご意見・ご提言	市の回答	担当部局
都市基盤について(道路・河川・公園・上下水道・土地利用など) 3/3			
(土地利用関連)			
	岩田駅周辺を、高齢者が買い物がしやすく気軽に集える場所にしてほしい。	駅や病院、スーパーなどが集積している岩田駅周辺の地域特性を活かして、高齢者が歩いて生活ができる、コンパクトなまちづくりを進めていきます。	建設部・政策企画部
	伊保木地区は、市街化調整区域や農業振興地域とされているため、規制で土地が十分に活用できず、若者が定住できない。関係する地区の住民が一堂に集まり話し合える機会を設けてほしい。	法律の規制があり難しい問題ですが、市街化調整区域の中でできること、地域の皆さんが求めていることについては、地域それぞれの実情があると考えます。今後、地域でそのような会を持たれる際には、ぜひとも市にもお声掛けをお願いします。	建設部・政策企画部
	全国で、市街化調整区域あるいは農業振興地域を変更したという事例は一件もないのか。こうした規制が時代にマッチしていないのは明らかである。	全国の地方自治体の中には、市街化区域と市街化調整区域の線引きをなくした例もあります。	建設部
	都市部の人との交流を図る手段として、伊保木地区の休耕農地を市が買い上げるなどして活用してほしい。	市が農地を買い上げることは困難ですが、現在、伊保木地区では公民館行事として野菜づくりに取り組まれていることから、こうした取り組みが都市部との交流の場となればと考えています。	経済部
	周防地区は都市計画区域に指定されているが、現在は都市計画税は徴収されていない。今後、徴収されるようになるのか。	条例上、都市計画区域の指定による都市計画税の課税を行っていません。ただし、市街化区域に編入された場合は0・3%の税率で課税されることとなります。	市民部
(公共施設関連)			
	大和支所など、岩田駅周辺の公共施設の整備計画を教えてください。	現在、「岩田駅周辺都市施設整備基本計画」の策定に取り組んでおり、公共施設の再配置や溝呂井住宅の建て替えなどの検討を始めたところです。後期基本計画のプロジェクトの中で、岩田駅周辺のコンパクトシティ化について明記しておりますとおり、トータルなまちづくりを考えていきます。	建設部・政策企画部
	新しい大和支所をつくるのであれば、大和総合病院から直接渡れる渡り廊下を設置したらどうか。支所や図書館に行きやすい総合病院にしてほしい。	実現可能かどうかは別にして、まちづくりには、こうした新しい発想が必要だと考えます。ご提言として受け止めさせていただきます。	建設部・政策企画部
	栽培漁業センターの東側の砂浜に、雨水管が3本あるが、台風などで詰まってしまう。予算化し、毎年1、2回は詰まりをとっていただきたい。	年に1度、詰まりを取っていますが、水が流れない場合は、道路河川課までご連絡ください。	建設部
	消防署の隣に給食センターの造成を行うと聞いているが、経費削減のため、県施設である「光青年の家」を活用してはどうか。	築40年以上経過する「光青年の家」を活用するには多額の改修費が必要です。さらに県有地を有償で譲り受けることとなるため、経費削減は難しいと考えます。	教育委員会

市民対話集会におけるご意見・ご提言と市の回答一覧(10/13)

分野	ご意見・ご提言	市の回答	担当部局
安全・安心のまちづくりについて(防災・防犯など) 1/2			
(防災関連) 1/2			
	牛島小・中学校跡地にあるヘリポートを島の中心部などに移してほしい。	7月に関係機関と共同で候補地の適否判断を行うための現地視察を行いました。ヘリポートの移転には、整地や建造物の撤去に費用がかかることから、引き続き検討していきます。	総務部
	防災行政無線の整備計画を教えてください。また、設置にあたっては、防災情報が満遍なく行き届くようにしてほしい。	平成25、26年度に旧大和地域で20基、旧光地域で50基の防災行政無線を整備する予定ですが、今後、実態調査を進めながら、整備のあり方などを検討します。なお、電波が届かない場所も想定し、広報車による広報活動のほか、メール配信サービス、エリアメール、防災広報ダイヤル、ホームページなど、複数の媒体で災害情報を提供していきます。	総務部
	防災行政無線について、小周防地区(特に新宮地区)の整備予定を教えてください。	現在、周防地区に防災行政無線はありませんが、今後整備を進めることとしています。また、新宮地区の防災連絡設備は有線であることから、来年度以降の整備事業で防災行政無線の設置を検討します。	総務部
	自主防災組織とは具体的にどのような組織なのか教えてください。	自主防災組織の具体的な取り組みとしては、①緊急連絡網の作成②要援護者の把握および災害発生時の支援③地域での防災訓練や教室の実施④地域の危険個所の把握⑤防災用品(ヘルメット・発電機など)の配備などが考えられます。	総務部
	自主防災組織の拡大への支援について。	自主防災組織を支援する補助制度や、組織の設立に関する出前講座、自主防災組織リーダー研修など、さまざまな施策をご用意しています。	総務部
	自主防災組織に関する出前講座での配布資料に、「要援護者に情報をFAXで送る」とあったが、FAXがない人は援助してもらえないのか。	FAXに限らず、広報車、メール配信サービス、エリアメール、ホームページ、防災広報ダイヤル、周防・牛島地区は有線放送、大和地域は防災行政無線など、複数のルートや媒体を用いて情報を提供していきます。また、自主防災組織などを通じて、隣近所の人が大きな声を出して避難を誘導するなど、人が補完していくことも重要だと考えています。	総務部
	防災だけでなく福祉など、他の分野においても、行政の提案する、自助・互助・共助・公助に加えて、近助(向こう三軒両隣)の五つの助けの調和が必要ではないか。	自主防災で最も重要なのは近助(向こう三軒両隣)であり、近所の集まりを一つの単位としていくことが自主防災の基本と考えます。ご意見を参考にさせていただきます。	総務部
	指定された避難所まで遠く、要介護者を連れて行くのは困難である。避難所について民間と契約する方法も検討してほしい。	避難が困難な人については、マイクロバスでの送迎など、避難のお手伝いをいたします。また、民間の施設などを避難所として使用することについても、その可能性を検討します。	総務部
	浅江地区の避難所は浅江公民館となっているが、何人の収容が可能か。5千人を超える虹ヶ丘住民はどこに避難するのか。	浅江公民館の収容人員は487人としています。虹ヶ丘地区で避難勧告などを発令した場合の避難所としては、浅江小学校体育館、テクノキャンパス研修センター、西部憩いの家など、近隣の避難所を指定することになります。	総務部
	周防の植松地区の避難所(多目的集会所)へ通じる道が、災害時には島田川の水が逆流して使用できない恐れがある。避難所としては不適切ではないか。	市では36カ所の主な避難所、15カ所のその他の避難所の計51カ所の避難所を指定し、発生した災害の種類、被害状況に応じて適切な避難所を開設しています。ご指摘の避難所が使用できないことになれば、状況に応じて一番安全な避難所を指定します。	総務部
	津波被害を想定した海拔表示を県道や市道などにも表示してほしい。	津波の浸水被害が想定される区域の国道や県道では、道路標識などへ海拔表示板の設置が計画されています。市でも避難所などへの海拔表示を検討中です。	総務部
	戸仲排水路出口の防災用排水ポンプの管理状況は。停電など、いざというときに使えるのか。	2カ月ごとの定期的な設備点検などにより、適切に管理しています。また、停電時に備え、ポンプの能力に応じた発電機を確保しています。	建設部
	市民ホールの屋上に設置されたスピーカーはどのような時に使用されるのか。	サイレンのスピーカーであり、消防団の召集や、非常災害時に使用します。	消防本部

市民対話集会におけるご意見・ご提言と市の回答一覧(11/13)

分野	ご意見・ご提言	市の回答	担当部局
安全・安心のまちづくりについて(防災・防犯など) 2/2			
(防災関連) 2/2			
	島田川沿いの私有地などを市で購入し、島田川の安全対策や環境保全のために活用してほしい。	島田川は県が管理する2級河川であり、目的などを明確にした上で、どのような活用ができるのか、改めて相談させていただきたいと考えています。なお、市が個人の家屋や土地を購入することは、現時点では難しいと考えています。	建設部
	ハザードマップによると、島田川の川西地域の避難所が「土砂災害時」と「土砂災害時以外」で異なっているが、避難情報が発令される時に「土砂災害時」と「土砂災害時以外」に区分けできるのか。的確な避難情報を提供してほしい。	豪雨時には島田川の洪水と土砂災害が同時に発生することが考えられることから、避難の目安となるよう土砂災害の警戒区域と島田川の浸水区域を表示しています。土砂災害の避難所としては、浸水の危険性はあるものの一時的に利用できる避難所を掲載していますが、避難勧告などの発令時には、両方の被害が想定されない避難所をお知らせします。	総務部
	土砂災害多発危険地域である周防の新宮地区では、土砂災害防止施設が整備されていない。砂防ダム・砂防堤などの設備対策をしてほしい。	これまでハード、ソフトの両面での防災対策を進めてきましたが、東日本大震災の教訓から、今後は、ハード面での対策も進めながら、今まで以上に迅速な避難誘導、避難所の適切な運営など、ソフト面に力を入れていきたいと考えています。最大の課題は、高齢者や障害者などの災害弱者の救済であり、福祉部門とも連携し、検討を進めます。	建設部・総務部
	光市は震度6弱で、高さ3・8mの津波が来ると推測されているのに、室積海岸の高潮対策では、堤防の高さが1・6mとなっているが。	西ノ浜から松原にかけて計画している800mの高潮堤防は、あくまで台風などによる高潮の浸入を防ぐための堤防です。なお、津波の際は避難することが一番重要です。	経済部
(防犯関連)			
	防犯灯の管理費用が地域の負担となっているが、市から補助はできないか。また、電気料についても自治会が半額負担となっているが、このままの負担を続けていくのは困難なため、補助してほしい。	市内には、約4700灯の防犯灯があり、市が電気料金の二分の一(年間約750万円)を補助しています。また、LED電球への交換についても、防犯協会を通じて(協会へ300万円の補助)支援しています。なお、電気料金を年間一括払いした場合、割引がありますので、ぜひともご利用をお願いします。	市民部

市民対話集会におけるご意見・ご提言と市の回答一覧(12/13)

分野	ご意見・ご提言	市の回答	担当部局
その他(総合計画・市への要望・行政対応など) 1/2			
(総合計画関連)			
	総合計画のキャッチフレーズに「人と自然がきらめく」とあるが、キャッチフレーズをしっかりと理念化し、イメージとして持ってほしい。	理念の上の一つひとつの事業を組み立てることが重要と考えています。このため、後期基本計画では、まちの方向性を7つの未来創造プロジェクトとして集約しておりますが、今後とも、常に理念に基づいた事業を展開できるように努めていきます。	政策企画部
	後期基本計画の主要プロジェクトなどを5年間にわたって実現していく上で、財政状況を教えてください。	後期基本計画は、財政的な裏付けのもとに策定したものです。光市の財政状況は、現在、適正な範囲内にあります。昨今の経済情勢により市税は減少傾向にありますが、行財政改革に努め、無駄を省きながらも必要なところにお金をかけてメリハリのある財政運営に努めます。	政策企画部
	今年度の一般会計、特別会計の予算規模が約370億円とあるが、これだけの財源を賄える税収を確保できるのか。労働人口の変化などで税収が大幅に減少した場合はどうか。	市税収入は、予算ベースで約82億円で、平成19年度と比べると37億円減少していますが、現時点では可能だと考えています。今後の経済状況によっては市民の皆さんに我慢をお願いすることもあり得ますが、今後も無駄な歳出の削減と歳入の確保に努め、総合計画に沿って事業を進めていきます。	政策企画部
	後期基本計画の資料には、計画の各論に数字が記載されているが、計画や数値の根拠などをきちんと理解するための資料はないか。	計画書の冊子を作成し、市役所本庁、出張所などに閲覧用として設置するとともに、ホームページにも掲載していますので、ご覧ください。	政策企画部
	後期基本計画で示された地域別整備計画には、自分たちの住む地域の記述があまりないようであるが。	地域別整備計画では、特定の地域に関わりが深いことを抜粋しており、記述の少ない地域もありますが、地域別整備計画の上には全体的な計画があり、その中で政策をそれぞれ掲げ、全市的な事業展開を図っています。	政策企画部
	7つの未来創造プロジェクトへの予算配分をどのように考えているか。	予算配分は決まっていますが、今後5年間は優先的かつ重点的に予算を配分していきます。	政策企画部
	地域福祉計画・地域福祉活動計画に、「共に支えあう やさしさあふれる福祉のまちづくり～無縁社会から有縁社会へ～」という素晴らしい言葉が載っているが、地域福祉向上のために総合計画の中にもこの文言を取り入れてはどうか。	今から総合計画の中に加えるのは困難ですが、地域福祉活動の活性化に向けて、さまざまな場面で使っていきたいと考えています。	政策企画部・福祉保健部
(市への要望など)			
	なぜ「株式会社光市」という表現を使うのか。	徹底した無駄の排除や、スピード感を重要視するとともに、市民満足度を企業の利潤ととらえ、その利潤を常に追求していきたいという観点から「株式会社光市」と表現しています。	政策企画部
	今後も積極的にこのような対話の場を設け、できる限り市民の意見を取り入れてほしい。	今後も「対話集会」や、市長室で行う「気軽にミーティング」など、市民と直接対話のできる場を積極的に設けていきたいと考えています。	政策企画部
	日本人であることの認識は、国旗、国歌である。市長が出席する会は、演壇に国旗を掲揚し、国歌斉唱から始めるべきでは。	市の行事には多種多様なものがあり、一律に実施することは困難ですが、会の主旨、内容などから必要性を判断し、適切に対応したいと考えています。	総務部
	財政が厳しい中で、調査員手当などが高過ぎるのでは。広報紙は、ページ数や発行回数削減など、工夫してほしい。	調査員手当(1軒当たり月額85円)は郵送料などと比較しても、適正だと考えます。広報紙については、これまでも特集記事の縮小、レイアウトの工夫など、徹底したページ数の削減を図ってきました。引き続き市政情報を的確にお知らせできるよう検討します。	政策企画部
	原子力発電所の建設に関して、光市は交付金を受け取る方向だと聞いているが、今後どのようなになるのか。	9月議会において、市長が「交付金を受け取るつもりはない」と明言いたしました。	政策企画部
	地方公務員の給与を国家公務員並みから民間並みに引き下げないと、税収が減少する中で、将来を乗り切れないのでは。	市職員の給与については、国家公務員給与の基準となる人事院勧告に準じて決定しています。現在、市では職員の給料について、一部カットを実施しています。	総務部
	市役所の職員の数が多過ぎるのでは。年輩の職員から人員削減をしたらどうか。	公営企業を除く職員数については、平成17年度からの7年間で約50人の削減を行いました。また、定年退職者のほか、毎年度50歳以上の者を対象とした勸奨退職制度を実施しています。	総務部
	市職員および教員の採用について、市政の効率化、活性化のため、一般企業の業務を経験した人の中途採用をシステム化してほしい。	行政職については、平成22年度までの3年間で、一般企業の業務を経験した人などを対象とした「社会人枠」の採用を行ってきました。今後も、中途採用について検討していきます。また、公立学校の教員採用は県が行っていますが、平成12年度から教員採用試験に社会人特別選考枠を設けています。	総務部・教育委員会
	市職員の採用について、高校、大学卒ばかりでなく、中学校卒業者も採用してはどうか。	市の職員は、初級・中級・上級職に分けて採用しています。初級職は高校卒業程度としていますので、高校卒業程度の学力が必要であると考えます。	総務部

市民対話集会におけるご意見・ご提言と市の回答一覧(13/13)

分野	ご意見・ご提言	市の回答	担当部局
その他(総合計画・市への要望・行政対応など) 2/2			
(行政対応など)			
	道路の陥没を見つけ、日曜日に市役所に電話したが、当直から「今日是对应できない」と言われた。ガス会社や水道局などと比べて、休日の体制に問題があるのでは。	対応の不備についてお詫びいたします。休日は職員が待機しておりませんので、対応までの時間は多少かかるかもしれませんが、休日などにおける緊急連絡網について、再度確認し徹底しました。	建設部・総務部
	道路工事に不備があり、市に連絡したが返答をもらえていない。市道か県道かに関係なく対応してほしい。	ご連絡の遅れ、不足がありましたことは真摯に反省し、早速、職員に徹底しました。市民にとっては市道、県道の区別は分かりにくいいため、まずは市役所にご連絡をお願いします。	建設部

※1 浚渫(しゅんせつ)・・・河川の川底(水中掘削分)の土砂を掘りとること。

※2 砂防堰堤(さぼうえんてい)・・・土石流などによる土砂災害の防止を目的として設置するダムのこと。